

健康経営優良法人 取組結果

(2024年5月実施)

重点課題（KPI）及び今後の課題

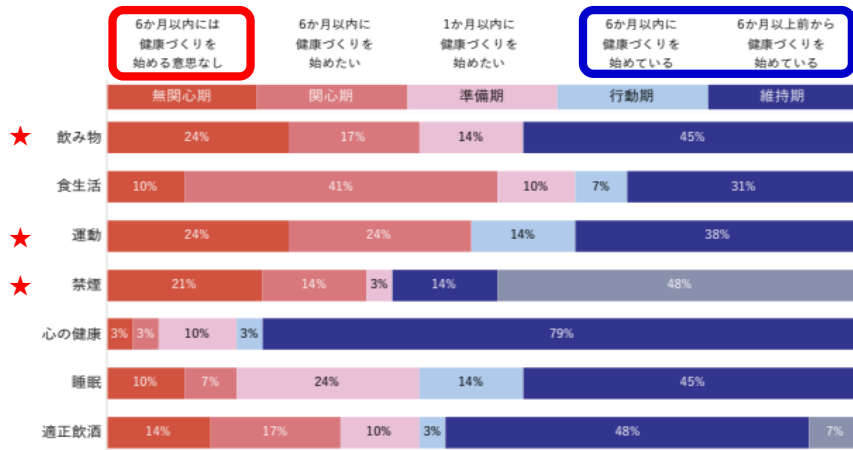
- 生活習慣病予防対策
- メンタルヘルス不調等の対策
- 喫煙率低下に向けた対策

重点課題	KPI (健康診断問診数値)	目標	実績	実績	実績	前年比	
		2025年度	2024年度	2023年度	2022年度		2021年度
生活習慣病対策 喫煙対策	運動 (1日30分以上、週2日以上)	21%	13%	21%	33%	35%	-8%
	禁煙 (喫煙習慣がない)	62%	62%	62%	70%	65%	0%
	飲酒 (しない又は1日2合未満)	80%	65%	80%	83%	81%	-15%
メンタルヘルス対策	睡眠 (十分な休養がとれている)	55%	55%	38%	74%	48%	+17%
	ストレスチェック受診率	100%	100%	100%	100%	100%	0%

今後の課題

今年度の健康習慣アンケートは、勤続年数2年以上でリーダー・管理職・総務課を対象に実施をしました。従業員の勤続年数2年未満の入れ替わりがあり、取り組みをするうえでデータの正確性が重要だと考えております。KPI結果より、昨年度の課題でありました「睡眠」が17%UPしたことから改善傾向にあると言えます。しかし、今回の結果分析より「運動」と「飲酒」2項目が低下したことが課題であるとともに、健康づくりを始めている行動期と維持期の実績推移から「食生活」において▲34%低下したことも課題であります。栄養・食生活は、生命を維持し、人々が健康で幸せな生活を送るために欠くことのできない営みであり重要です。今年度は、「運動」「食生活」に向けた取り組みを導入します。また、健康増進・生活習慣病予防対策において、健診結果を今後の健康管理に活用・サポートできるよう「オフィスで野菜」の活用と「食リテラシーUP(アプ)」のサポートについても継続して行っていきます。

▼生活習慣（7項目）に関するアンケートを継続実施し、疾病リスクと生産性を阻む要因の分析に役立てています
2024年5月実施（2019年～アンケート開始）



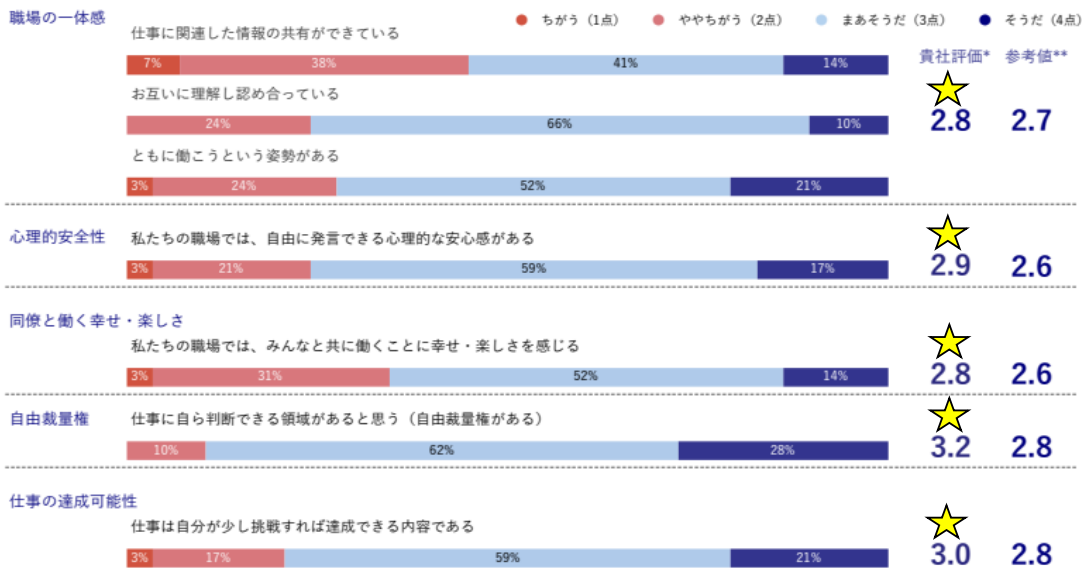
- ・2024年度は、ワースト1位に「飲み物」「運動」、ワースト2位に「禁煙」の無関心期の数値が高いです。改善意識の低い従業員が多い傾向が確認されています。
- ・今年度は「運動」「飲み物・食生活」「禁煙・飲酒」のセミナーや啓発活動を積極的に行っていきます。

▼健康づくりの行動期(6か月以内に始めている)と維持期(6か月以上前から始めている)の実績推移

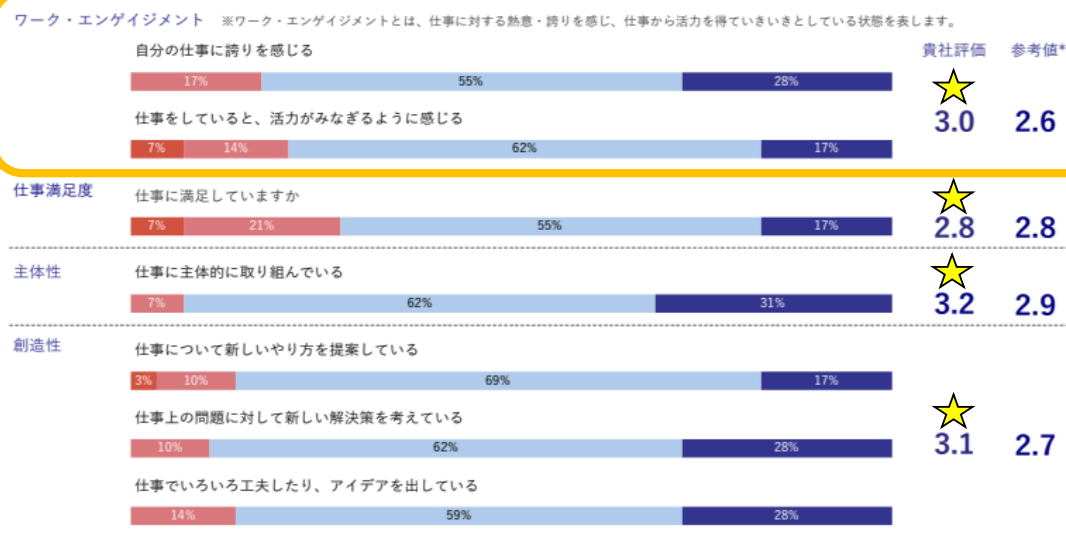
項目	実績	実績	実績	実績	実績	実績	前年比
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
飲み物	43%	51%	50%	50%	55%	45%	-10%
食生活	53%	58%	61%	64%	72%	38%	-34%
運動	56%	61%	66%	65%	41%	52%	+11%
禁煙	70%	70%	65%	70%	63%	62%	-1%
心の健康	74%	71%	69%	73%	66%	82%	+16%
睡眠	65%	68%	68%	75%	69%	59%	-10%
適正飲酒	49%	52%	56%	63%	69%	58%	-11%

データ分析からわかったこと
①朝食を食べない人の割合が多い
17%→28% (+11%)
→朝食欠食の増加
②栄養成分を気にしない人の割合が多い
45%→62% (+17%)
→健康意識の低下

【職場の働きやすさ】



【従業員の働きがい】



具体的な取り組み

- 健康増進・生活習慣病予防対策
 - 健康診断受診率100%、健康診断再検査の受診率向上 (産業医との連携と面談フォロー・受診確認書の提出)
 - 婦人科系健診の女性従業員受診率100%
 - 置き型社食「オフィスで野菜」導入
- メンタルヘルス不調等の対策
 - ストレスチェック受診率100%、ストレスチェック高判定者フォロー (産業医との面談実施)
 - メンタルヘルスケア「キャリア面談の実施」
- 喫煙率低下に向けた対策
 - 禁煙デーの実施 (毎月22日)
 - 禁煙外来治療費の補助 (全額会社負担)
- 働きやすい職場づくり
 - 職場環境整備の推進 「古道工場 換気扇設置」
 - 健康経営コーナー器具増設 「J O B A・体組成計」

今後の取り組みについて

今回のアンケート調査結果による従業員の不健康による労働生産性損失額は、アブゼンティーズムコストは135万円で、プレゼンティーズムコストは2,730万円でした。

従業員一人ひとりが十分に能力を発揮できるためには、「心身の健康」と「安心・安全 (働きやすさと働きがい)」を醸成することが重要です。そのためには健康経営の取り組みを継続実施することで、健康・働きがいを高めて労働生産性の向上につなげていきます。

また、従業員の働きがいにおいて、健康でいきいきと働ける状態を目指すためには、ワーク・エンゲイジメントを高めることが重要と考えられますので、身体とこころの健康づくりのサポートと健康増進、健康寿命延伸のため取り組んでいきます。